

関西支部 LMAG 第 22 回技術講演会

2023/9/14 記録

Report of 22nd LMAG Kansai On-site Lecture Meeting

LMAG 関西 事務局

講演会の概要 (Summary)

講演テーマ (Title)

日本が獲得した「マイルストーン」

～社会を変えた技術 歴史を知って、未来へ挑戦～

IEEE Milestones proposed from Japan

～ Challenging the future by learning about the technologies and history
that have changed society ～

講演者 (Lecturer)

白川 功 氏 大阪大学名誉教授

IEEE Life Fellow, JC History Committee Chair

Isao Shirakawa, Professor Emeritus, Osaka University

日時 (Date)

2023 年 9 月 14 日(木) 15:30 – 17:15

場所 (Place)

大阪工業大学（梅田キャンパス）OIT 梅田タワー 2 階セミナー室

Osaka Institute of Technology, Umeda Campus, OIT Tower

主催 (Organizer)

IEEE Kansai Section

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

共催 (Joint sponsorship)

IEEE Japan Council

IEEE JC History Committee

Osaka Institute of Technology

参加者 (Participants)

On-site 31 名 (IEEE 会員 24 名, 非会員 7 名)

Remote(Zoom) 61 名 (IEEE 会員 54 名, 非会員 7 名)

プログラム (Program)

- 15:30 開会挨拶・講師紹介
- 15:40 白川先生講演
- 16:30 質疑応答
- 17:15 閉会挨拶、記念撮影
- 18:00 懇親会（希望者のみ）

概要 (Brief Report)

IEEE では、社会に変革を与えた技術を顕彰して歴史に記すために「マイルストーンプログラム」を定めており、日本国内で開発された 41 の技術もマイルストーンに認定されている。白川先生は、これらの多くに関して、申請から IEEE 理事会による認定へ至る過程を先導されてこられました。この歴史的技術業績と認定までの内容・背景について、技術史としても意義深く、興味深い背景などを、具体的な事例で紹介された。

マイルストーン認定状況は世界全体で 241 件、内「日本 41 件、米国 120 件、欧州 55 件」などであり、まだまだ埋もれているのでは、との課題提起と共に「苦労多く、早く後継者を」が喫緊の課題とのお話が印象的であった。

「シンギュラリティ」関西 LMAG の本年活動ひとつのキーワードである。白川先生ご自身「JC History Committee Chair」でもあり、まさに本講演の標題・サブタイトルどおり「マイルストーンの歴史」を知ることで足元を固め次に繋げるに相応しいご講演となった。関西 LMAG としては初の試み「現地講演会(On-site)とネット参加(Zoom)」併用ハイブリッド型にて実施できた。

※ マイルストーン認定一覧（日本）

https://ieee-jp.org/activity/jchc/milestone_jusho.html

懇親会 (Optional get-together)

19 名の参加を得て、講演会場の大阪工業大のレストランにて行った。JC(東京)からの参加も得て、ご講演の白川先生を囲んで親しく歓談の場を持つことが出来た。

写真(Photo)

	
櫛木 LMAG Chair による開会の辞	会場風景
	
講演される白川先生	
	
講演会場にての集合写真	

以上